

民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳述書

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。また、記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

※入札方法に関する問合せ

静岡地方裁判所(本庁) 執行官室(電話番号054-255-8534)

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 8 月 31 日

静岡地方裁判所民事部

裁判所書記官 山 田 萌 里

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 9 月 29 日 午前 8 時 30 分から 令和 8 年 10 月 6 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 10 月 13 日 午前 10 時 00 分 場 所 静岡地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 11 月 4 日 午前 9 時 50 分 場 所 静岡地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 8 年 10 月 14 日 午後 1 時 00 分から 令和 8 年 10 月 14 日 午後 3 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 8 月 31 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。 なお、期間入札において買受申出がないときは、開札日の翌日に特別売却が実施されます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和8年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	5,430,000 4,344,000	一括	1,086,000	108,527	0
1	1,440,000				
2	3,990,000				

物 件 目 録

- 1 所 在 静岡市葵区内牧字内宮
地 番 97 番 13
地 目 宅地
地 積 166.96 平方メートル

所有者 A

- 2 所 在 静岡市葵区内牧字内宮 97 番地 13
家屋 番号 97 番 13
種 類 居宅
構 造 木造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 56.47 平方メートル
2 階 52.60 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1
共有者 B 持分 2 分の 1

物 件 明 細 書

令和 8 年 7 月 23 日

静岡地方裁判所民事部

裁判所書記官 山 田 萌 里

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件建物共有者らが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意

味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 所 在 静岡市葵区内牧字内宮
地 番 9 7 番 1 3
地 目 宅地
地 積 1 6 6 . 9 6 平方メートル

所有者 A

2 所 在 静岡市葵区内牧字内宮 9 7 番地 1 3
家屋 番号 9 7 番 1 3
種 類 居宅
構 造 木造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 5 6 . 4 7 平方メートル
2 階 5 2 . 6 0 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1

共有者 B 持分 2 分の 1

令和8年（ケ）第28号

令和8年6月3日受理
令和8年7月14日提出

現況調査報告書

静岡地方裁判所
執行官 杉山 聡 印

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 静岡市葵区内牧字内宮
地 番 97 番 13
地 目 宅地
地 積 166.96 平方メートル

所有者 A

2 所 在 静岡市葵区内牧字内宮 97 番地 13
家屋 番号 97 番 13
種 類 居宅
構 造 木造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 56.47 平方メートル
2 階 52.60 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1
共有者 B 持分 2 分の 1

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり				
住居表示	静岡市葵区内牧97番地の13				
土地	物件1				
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）				
形状	☐ 公図のとおり ☒ 概ね建物配置図（概略）のとおり				
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者A ☒ B（下記建物共有者） 上記の者らが本土地上に、主に下記建物を共有して占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり ☒ Bは、Aの元配偶者であり、地代等金銭の授受もないことから、平成31年2月21日（登記簿上の建物建築年月日）から使用借権に基づき本土地を占有しているものと認めた				
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）				
その他の事項	およそ建物配置図（概略）に示した位置付近に、簡易物置（動産）が存する				
建物	物件2				
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載と概ね同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：				
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ある { 種類： 構造： 床面積：				
占有者及び占有状況	☒ 建物共有者A・B ☐ その他の者 上記の者らが内部に動産を残置した状態で本建物を居宅（空室）として占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり				
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）				
その他の事項					
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ある [地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日				
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 概ね建物配置図（概略）のとおり				

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

そ の 他 の 事 項

- 1 本物件は、北西側で市道内牧内宮団地5号線に接する。
- 2 北西側隣地（登記簿の記載は下表のとおり）の現況は道路である。

地番	地目	地積	所有者
97-1	公衆用道路	948㎡	静岡市

- 3 内部に残された動産の状況等から本件建物は居住の用に供されなくなってから相当期間が経過しているものと思われる。第三者による占有の徴表は見受けられず、関係人らの陳述及び表札の表示、A宛ての郵便物の存在等から建物共有者らが内部に動産を残置したまま本件建物を空室の状態で居宅として占有しているものと認めた。
- 4 2022年9月に本物件一帯が大雨により床上浸水等の被害に遭っているようであるが、本件建物の被害の程度は不明である。
- 5 本件建物はオール電化と思われる。
- 6 3階に相当する部分に屋根裏部屋がある（間取図、写真8参照）。
- 7 その他本物件の概要については、関係人らの陳述を参照されたい。
- 8 公法上の規制及び供給施設の詳細等については、評価書を参照されたい。

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■近隣者	1 本物件は1年弱前から空き家と思われます。最後まで住まわれていたのは、Aさんです。 2 2022年9月の大雨の際、この辺り一帯は床上まで浸水しました。
■Bの債務整理相談受任 弁護士事務所事務員	1 BはAの元配偶者です。AB間に地代のやりとりはありません。 2 Bは本物件に住んでおらず、鍵もないので立ち会うことはできません。 3 本物件に関し、事件・事故は起きていないと思います。 4 不動産業者から、2022年9月の大雨により本物件一帯が水害に遭ったと聞いていますが、本件建物がどの程度の被害を受けたかはわかりません。 5 敷地内に、祠や井戸などはありません。 6 隣地との境界について紛争は生じていません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和8年6月3日 (水) : - :	当庁執行官室	間取図交付申請 (郵送) 静岡市役所
令和8年6月8日 (月) 11:00-11:11	静岡地方法務局	登記事項証明書交付申請 (窓口)
令和8年6月8日 (月) 14:00-14:22	物件所在地 (1回目)	現況調査、写真撮影 (外観) 近隣者と面談
令和8年6月10日 (水) : - :	当庁執行官室	所有者ら宛て通知書郵送
令和8年6月11日 (木) 11:02-11:09	静岡市役所 土木管理課	接面道路につき調査
令和8年6月25日 (木) 10:00-10:12	物件所在地 (2回目)	現況調査、写真撮影 (外観) 占有関係等調査 <評価人同行>
令和8年6月25日 (木) 15:05-15:10	当庁執行官室	弁護士事務所事務員と電話連絡 占有関係等聴取
令和8年7月3日 (金) 10:55-11:25	物件所在地 (3回目)	現況調査 (全戸不在、建物内立入)、写真撮影 <評価人同行>

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

■ 令和8年7月3日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Cを立ち会わせ、解錠技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 平成 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

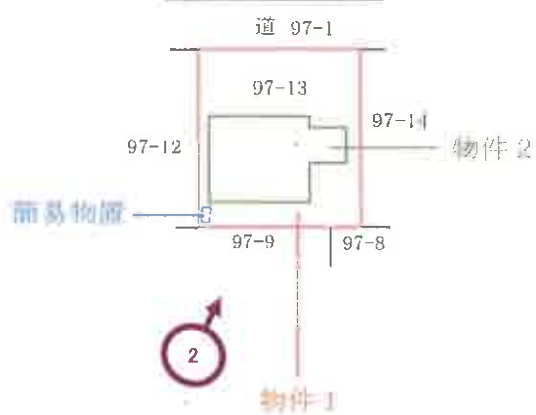
☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



写真撮影位置・方向

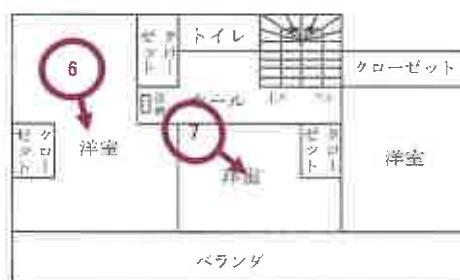
建物配置図（概略）



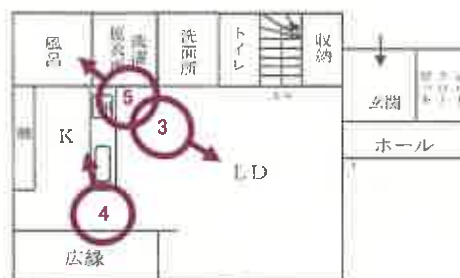
間取図（物件 2）



3階



2階



1階

1



2



3



4



5



6



7



8



令和 8 年（ケ）第 28 号
令和 8 年 7 月 3 日 現地調査
令和 8 年 7 月 14 日 評 価

静岡地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

芝口 直樹 印

物 件 目 録

1 所 在 静岡市葵区内牧字内宮

地 番 97 番 13

地 目 宅地

地 積 166.96 平方メートル

所有者 A

2 所 在 静岡市葵区内牧字内宮 97 番地 13

家屋 番号 97 番 13

種 類 居宅

構 造 木造スレートぶき 2 階建

床 面 積 1 階 56.47 平方メートル
2 階 52.60 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1

共有者 B 持分 2 分の 1

第1 評価額

一 括 価 格			
金		5, 4 3 0, 0 0 0	円
内 訳 価 格			
物件1（土地）	金	1, 4 4 0, 0 0 0	円
物件2（建物）	金	3, 9 9 0, 0 0 0	円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の土地の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。
- 5 上記評価額は引受債務相当額を控除する前の価格である。

第3 目的物件

番 号	登 記	現 況
1	物件目録記載のとおり	
2	物件目録記載のとおり	
特 記 事 項		
・物件1の土地の上に物件2の建物が存する。		

※ 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	J R 東海道本線「静岡」駅の北西方・直線距離約 6.4 km (別添「位置図」参照)	
付近の状況	安倍川右岸の郊外に位置する、一般住宅が建ち並ぶ既存の住宅団地。北側背後には山林が控えており、やや場末感がある。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化調整区域 用途無指定 60% 200% 無 ※特記事項参照
画地の状況	地積 形状 間口・奥行 地勢 接道状況 その他	166.96 m ² 長方形 間口約 12m、奥行約 14m 概ね平坦地 路面とほぼ等高に接面する中間画地 特になし
接面道路の状況	北西側幅員約 4mの舗装市道（建築基準法上の道路）	
土地の利用状況	現況利用・・・物件2の建物敷地として利用されている。 目的外建物の有無・・・なし その他・・・簡易物置がある。	
供給処理施設	上水道 あり ガス配管 なし 下水道 なし (注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	

特 記 事 項	物件1は市街化調整区域内の宅地であるが、静岡市土地政策課へのヒアリングによると、対象地を含む周辺地域は旧住宅地造成事業に関する法律に基づく認可区域として指定されており、適合証明によらず許可不要により建築できるとのことである。詳細は静岡市土地政策課にて確認されたい。 土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）、洪水浸水想定区域内にある。なお、静岡市のHPによれば、令和4年台風15号による浸水実績がある、とされている。
----------------	---

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び 経済的 残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：平成31年2月 経 過 年 数：約7年 経済的残存耐用年数：今後約13年と査定した
仕 様	構 造：木造2階建 屋 根：スレート 外 壁：サイディングボード 内 壁：クロス等 天 井：クロス等 床 ：フローリング、化粧Pタイル等 設 備：電気 給排水 衛生（水洗） その他：オール電化仕様とみられる。※特記事項参照 屋根裏部屋がある。
床 面 積 （現況）	ほぼ登記どおりとみられる。 1階：56.47㎡、2階：52.60㎡、延：109.07㎡
現況用途等	現況用途：一般住宅 間 取 り：後添間取図参照
品 等	普通
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	建物共有者らが居宅（空き家）として占有している。 ※詳細は、執行官の現況調査報告書を参照されたい。
特 記 事 項	建物外側にヒートポンプ給湯器が設置されていたほか、IH クッキングヒーターを利用している現状等から、オール電化仕様であると思料される。なお、屋根等にソーラーパネルは確認できなかった。

第5 評価額算出の過程

適切な複合不動産の取引事例が収集されず、また、対象物件が戸建住宅とその敷地で収益物件ではないため、比準価格と収益価格は求めず、積算価格より評価額を求めるものとする。

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

物件1の更地価格を算出し、これに建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ=オ
1	55,100	0.75	166.96	0.9	6,210,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査基準地 葵（県）-22

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 59,600 & \text{円/㎡} \times & 100.0/100 & \times & 100/102 & \times & 100/106 & \div & 55,100 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：基準地の画地条件を考慮した。

◇地 域 格 差：街路条件（幅員、配置）、交通接近条件（諸施設）、環境条件（居住環境等）等を考慮した。

イ 個 別 格 差：環境条件（土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域、周囲の状態等）等を考慮した。

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地の状態等を考慮した。

② 物件 2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物の価額を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価額 (円) ア×イ×ウ = エ
2	157,000	109.07	0.46	7,880,000

ウ 現価率：耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して下記のとおり求めた。

経過年数 7 年、経済的残存耐用年数 13 年、観察減価 30%

（耐用年数に基づく方法）

（観察減価法）

$$\text{現価率} = 13 \text{ 年} \div (7 \text{ 年} + 13 \text{ 年}) \times (1 - 0.30) \div 0.46$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ = ウ
1	6,210,000	0.4	法定地上権	2,480,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を 40%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ、1②エ) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ) × ウ × エ × オ
1	6,210,000	－ 2,480,000	－	0.7	0.55	1,440,000
2	7,880,000	＋ 2,480,000	－	0.7	0.55	3,990,000
一 括 価 格 (合 計)						5,430,000

ウ 占有減価修正：なし

エ 市場性修正：土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域にあり、自然災害リスクを敬遠する昨今の市場性の減退を考慮し、なお、市場性が劣ると判断されるので所要の修正を行った。

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

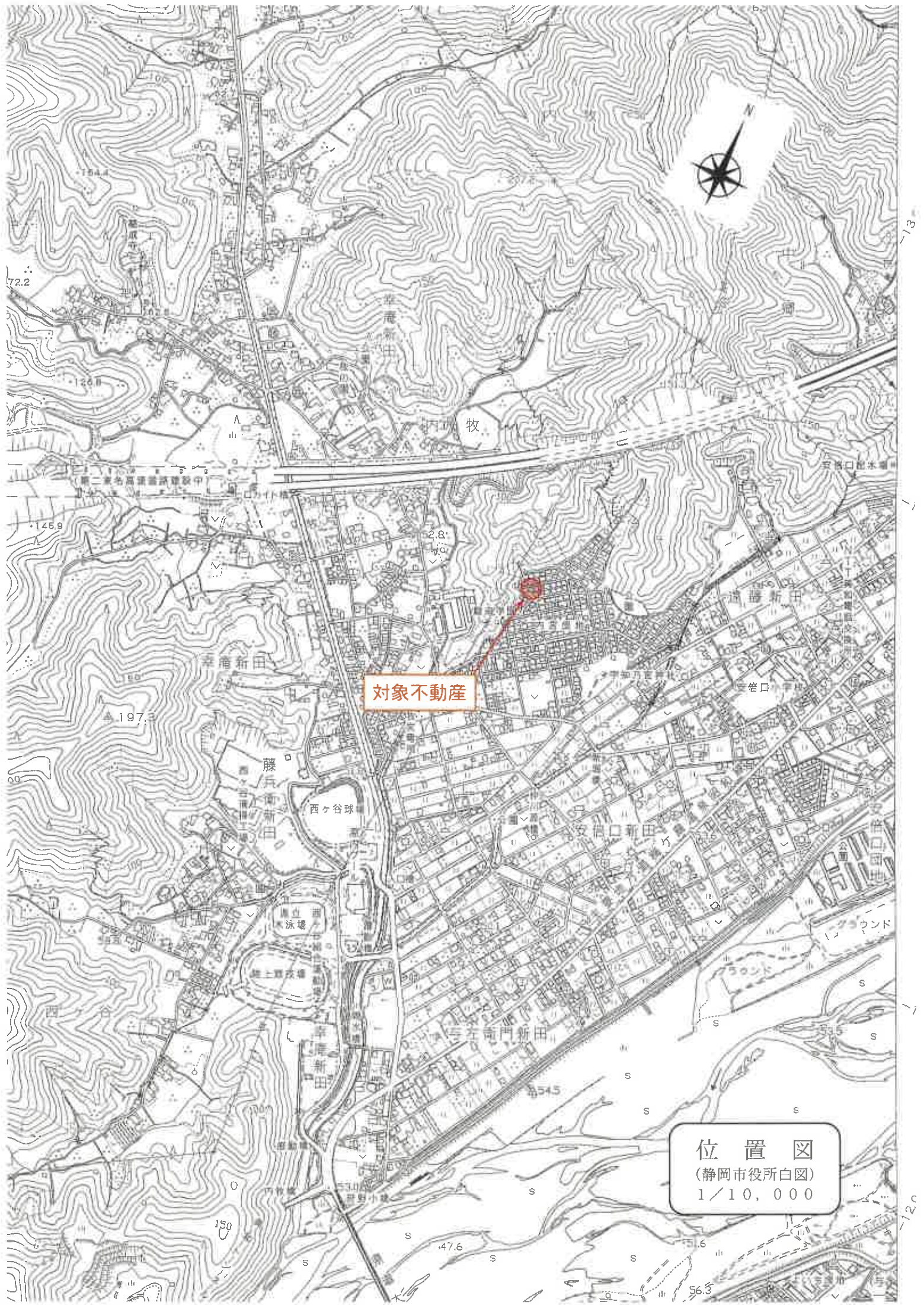
1 地価調査基準地価格 (葵(県)－22)

所 在：静岡市葵区安倍口新田字本井内 14 番 2
価 格：59,600 円/㎡
価 格 時 点：令和 7 年 7 月 1 日
地 積：165 ㎡
供給処理施設：水道
接 面 街 路：南西側 7.2m 市道
用 途 指 定 等：市街化調整区域（建蔽率 60%、容積率 200%）
地 域 の 概 要：中規模一般住宅と農家住宅が混在する郊外の住宅地域

第7 附属資料

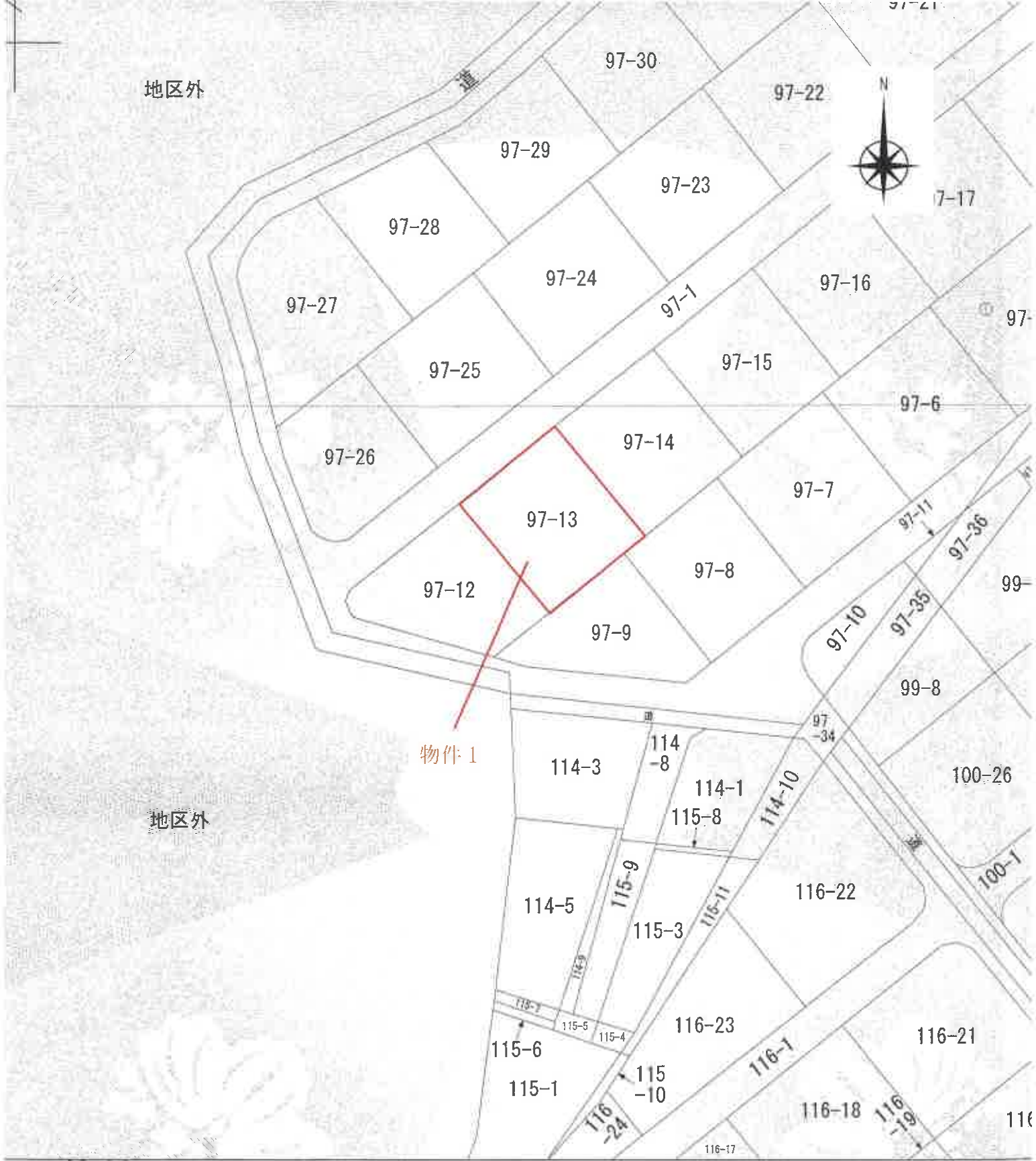
- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物配置図
- 4 間取図

以 上



対象不動産

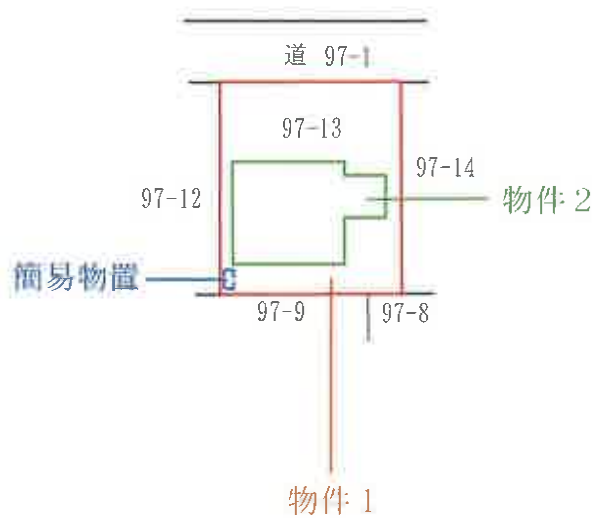
位置図
(静岡市役所白図)
1/10,000



(座標値種別：図上測定)

地番区域見出

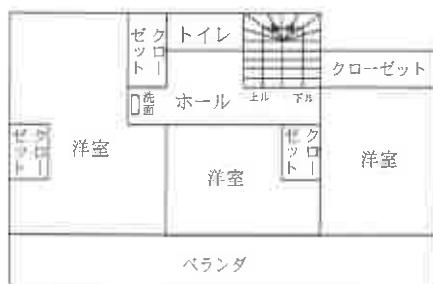
在 静岡市葵区内牧字内宮			地 番	97番13	公 図 写 1 / 500	
精 度		座 標 系				



建物配置図



3階



2階



1階

間取図